

年主題 「恵みを数えつつ歩む教会」

1. 礼拝順序

司式 役員
奏楽 オルガニスト

- | | | |
|--------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 前招 | 奏詞 | |
| | | 「五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると、突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた。そして、炎のような舌が別れ別れに現れ、一人一人の上にとどまった。すると、一同は聖霊に満たされ、霊が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話した。」(使徒言行録2章1-4) |
| ○ 讚美歌 | 主の祈り | 二編188番(1,3節次ページ)
(次ページ) |
| ○ 交読文 | | 24詩編100篇 (別冊交読文 p.28) |
| ○ 信仰告白 | | 使徒信条 (次ページ) |
| 聖書 | 祈禱 | 詩編149編:1~9 (旧約 p.989)
マルコによる福音書14章38節 (新 p.92)
米倉美佐男牧師 |
| 祈説 | 祈禱 | 「目を覚まして祈れ」
米倉美佐男牧師 |
| ○ 讚美歌 | 聖餐 | 一編181番(1,3,5節次ページ)
配餐:役員 |
| 讚美歌 | 奉獻 | 21-504番(1,3節)
お当番 |
| 讚美歌 | | 21-65-2番 |
| 頌栄 | | 21-29番 |
| ○ 祝禱 | | 米倉美佐男牧師 |
| ○ 報告 | | |
| 祈りの時 | 後奏 | 牧師が与えられるように、伝道献身者が起こされるように。 |

○印は起立ですが、お体に差しさわりのある方は、ご無理なさらず、おかけになったまま礼拝をお守りください。

2. 集会案内

- 礼拝前祈禱会 10:15 於:礼拝堂前方
- 礼拝堂お掃除 礼拝後
- 教会学校 15:00~ペンテコステ礼拝 CS教師
- ※聖書研究・祈禱会は休会中です。
それぞれの場においてお祈りください。

聖書 (聖書日課・木曜日) フィリピ 1:27~2:4

- 今月の祈り
- ・コロナウイルスに感染された方々のご快復と、感染症の一日も早い終息のために。医療従事者の方々のために。
 - ・伝道献身者のために。神学校のために。宣教師のために
 - ・土地・建物返済献金(年間目標額:100万円)をおささげ出来ますように。
 - ・教区祈りのカレンダーより祈る教会:東大和教会
 - ・平野芳子牧師、創立1966年、現住陪餐32、礼拝出席17、祈禱会出席/CS出席0、予算380万円。
 - ・祈りの課題:教会員の高齢化と会堂の老朽化が課題。会堂内外のリフォームを進め、礼拝を整える。中庭を開放し、地域の人や子どもたちを気楽に招き、礼拝へと導く

○次週主日礼拝 6月12日(日)10時半
聖霊降臨節第2主日・三位一体主日

「我らに罪の赦しを」
ヨハネの手紙一 2章1~2 愛澤豊重牧師

司式:役員 奏楽:オルガニスト
礼拝当番:お当番
招詞・11テモテ4章1~2 交読文・15詩51篇
讚美歌・一編249(1.4) 一編262(1.3)

- 礼拝前祈禱会 10:15 礼拝堂前方
- 礼拝堂お掃除 礼拝後
- 6月度定例役員会 15:00~於:教育館

【主の祈り】

天にまします我らの父よ。
願わくは御名（みな）をあげさせたまえ。
御国（みくに）を来たらせたまえ。
みこころの天になるごとく、
地にもなさせたまえ。
我らの日用（にちよう）の糧（かて）を
今日も与えたまえ。
我らに罪を犯す者を我らが赦（ゆる）すごとく、
我らの罪をも赦したまえ。
我らを試（こころ）みにあわせず、
悪より救いだしたまえ。
国と力と栄えとは、
限りなく汝（なんじ）のものなればなり。

【使徒信条】

我は天地の造り主ぬし、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、
我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊（せいれい）によ
りてやどり、処女（おとめ）マリヤより生れ、ポンテオ・ピラト
のもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府
（よみ）にくだり、三日目に死人のうちよりよみがへり、天に昇
のぼり、全能の父なる神の右に座したまへり、かしこより来りて、
生ける者と死ねる者とを審（さば）きたまわん。我は聖霊を信ず、
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪の赦し（ゆるし）、身体（か
らだ）のよみがへり、永遠（とこしえ）の生命（いのち）を信ず。
アーメン。

【讚美歌二編188】

1. きみのたまものと 若いちからを
神のみ名のため きよくもちいよ。
み子はさきだちて すすみゆかれる、
友よ、いさみたち み子につづけよ。
（おりかえし）
きみのたまものと 若いちからを
神のみ名のため すべてささげよ。
2. きみのたましいを すべてささげて
神のわざのため つとめいさしめ。
神はひとの世に み子をあたえて、
きみの立つことを 待っておられる。

【讚美歌181】

1. みたまよ、くだりて あいのほのお
冷えたるところに もやしたまえ。
3. ささぐるうたには ちからもなく、
たたえのこえだに くちにいでず。
5. みたまよ、主イエスの あいの火もて
われらのところに くだりたまえ。